



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2011 **11**



10月12日(水)兵庫県民会館において「2011年度 兵庫県生協大会」を開催しました。

(関連記事P.4~5)

## 小規模生協らしきの探求

私は昨年1月より神戸高専生の協の店長として従事し、今春5月から専務理事の大役を仰せつかりました。若輩者ですが皆さま何卒、宜しくお願い致します。

神戸高専は昭和38年に「神戸市立六甲工業高等専門学校」として設立された、日本で唯一の市立高等専門学校です。昭和41年に現在の名称に変更、平成2年より現在の西区学園都市へ移転しました。再来年の平成25年には創立50周年を迎えます。

キャンパス人口は学生約1300名・教職員約130名と大きな小学校程度の規模に、機械工学、応用化学など理系5学科が設置されています。本科

5学年と大学での院にあたる専攻科2学年で、長い学生は7年も在籍し毎日授業・研究に通う生活を送っています。

そんな神戸高専に生協が誕生し今年で4年目。今はまだ、いわばよちよち歩きの赤ん坊の段階で、一人前の組織と成るにはまだまだこれから沢山の制度整備や挑戦が必要です。

現在の主な事業内容は食堂と購買店の運営、教職員の研究・教育用品調達、教科書等新学期用品の斡旋、学生共済の募集などです。体制としては正規職員が私1名、定時職員8名の総勢9名。まだ扱える事業分野も充分とは言えず、組合員の多種多

## CONTENTS

- |   |  |
|---|--|
| 2. 想点   | 9. 単協通信 生活協同組合コープこうべ/<br>生活クラブ生活協同組合都市生活                                     |
| 4. 2011年度兵庫県生協大会 報告                           | 10. 協同組合のかけ橋   |
| 6. 第2回理事会 報告/<br>第10回兵庫県健康福祉部と 兵協連理事会との懇談会 報告 | 11. 兵庫県のページ  |
| 7. 単協通信 兵庫労働共済生活協同組合/<br>神戸市民生活協同組合           | 12. ひょうご消費生活フォーラム2011のご案内/<br>債務整理・家計管理・こころの相談 合同無料相談会<br>のご案内/県連日誌/編集後記/お詫び |
| 8. 単協通信 西宮市民共済生活協同組合/<br>姫路医療生活協同組合           |  |



神戸市立工業高等専門学校生活協同組合  
専務理事

## 藤本 淳平

(ふじもと・じゅんぺい)

様な要望に全てお応えできるまでには至っておりませんが、少しずつ着実に成長し事業範囲・供給規模とも拡大して行けるよう、役員・スタッフ一同ちからを合わせて取り組む毎日です。そんな日々の頑張りが報われてか、神戸高専生協設立から3期を経て、このたび晴れて兵協連への加入が叶い、皆さまの間として迎えて頂けることとなりました。小規模なりのこれまでの健全経営を評価頂けた結果と関係者一同喜んでおります。

ご存知の通り、大学生協では職員による店舗運営と両輪を成す、学生有志による生協活動が多く、多くの会員生協にて行われています。当生協も昨年度まで少数精鋭の学生で活動していましたが、上級生達の努力が実り、今年には11名もの1年生が学生委員会へ参加してくれました。若

干15、16歳の若者達が、一所懸命に協同の精神について学び、学内に広く生協活動を知って貰えるよう、日々広報活動に取り組んでくれています。これまでになく大所帯な学生組織の結成が叶い、手探りながら職員の私

も混じりつつ活発な活動が行われています。当面の目標として、第一に小規模会員なりの経営構造を確立し、安定して単年度赤字が続く健全経営を継続していくことで

意のもと業務に取り組んでいきます。組合員全員の積極参加が実現され、生協が学内になくてはならない頼もしい存在となれるよう、関係者一同、日々精進して参る所存です。正式に県連の一員となったからには、規模は小さいながらもしっかりと存在感のある会員生協となれるよう、健全で磐石な組合組織を目指して参りますので、今後とも神戸高専生協を何卒宜しくお願い申し上げます。

# 2011年度兵庫県生協大会を開催

## テーマ 協同が息づく兵庫のまちづくり 協同組合がよりよい社会を築きます

10月12日(水)、兵庫県民会館において、2011年度兵庫県生協大会を開催し、会員生協の組合員、役員など268名がつどいました。

毎年10月は、生協強化月間です。全国の生協で「活動や事業について知っていただき生協の輪を広げるための催し」が行なわれます。

今年も、東日本大震災が発生し、全国の生協とともに兵庫県の生協も出来る限りの支援・協力を行ってきたことから、「東日本大震災報告会」として、「共助の精神と実践」が根付く社会にいくために生協が果たさなければならぬ役割を改めて考える機会として開催しました。

第一部・記念式典は、神戸医療生協常務理事・阪森久美子さんの司会進行で始まりました。まず、主催者を代表して兵庫県生協連・本田英一会長理事が、「東日本大震災、台風12号、15号で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。さて、長引く不況、少子高齢化、雇用、年金、食の安全安心、環境問題など消費者組合員を取り巻く環境は、かつてない厳しい状況となっておりますが、生協は自分たちの力を寄せ合って事業

と活動をすすめることで自分たち自身の生活を改善し、より良い社会づくりに貢献するということをめざした組織です。まさに今、私たち生協は社会から役割発揮をもとめられていると言えます。

国連は2009年12月の総会で、2012年を「国際協同組合年」と宣言しました。これは、社会経済的發展への協同組合の貢献が国際的に認められた証です。私たち生活協同組合も、協同組合の一員としてあらためて生協運動の原点に立ち返り、自らの組織、事業、活動のありようを再点検していくことが、国連の呼びかけにも応えていくことになるのではないのでしょうか」と挨拶しました。

引き続き、ご来賓の兵庫県知事・井戸敏三様、神戸市市民参画推進局市民生活部部長・安廣哲幸様、兵庫県議会議長・加茂忍様より、それぞれ生協への期待をこめられたご祝辞をいただきました。

その後おこなわれた表彰式では、永年生協の発展に寄与した4人の会員生協役員に生協功労者表彰として「兵庫県知事感謝」が井戸知事様より贈られました。また、生協業務に精励した29名の役員に本田会長理事より「兵庫県生活協同組合連合会会長表彰」が贈られ、会場の参加者は大きな拍手で祝いました。



井戸敏三兵庫県知事



神戸市 安廣哲幸部長



兵庫県議会 加茂忍議長



第二部は、「東日本大震災報告会」として、各会員生協による東日本大震災の被災地への支援活動報告が行われました。最初に日本生活協同組合連合会が作成したDVD「被災地のくらしを協同の力で支える」を視聴した後、地域・職域購買生協を代表して生活協同組合コープこうべ理事・大谷敦子さんより「東日本大震災へのコープこうべボランティア活動支援について」、続いて大学生協を代表して大学生協阪神事業連合理事会室・藤江正俊さんより「心の交流」を目指した大学生協ボランティア」続いて医療生協を代表して尼崎医療生協組合員活動部長・瀬井宏幸さんより「震災支援活動」医療福祉生協連近畿ブロックを代表して、「続いて共済生協を代表して兵庫労働共済生協事業推進部推進企画課係長・福岡孝史さんより「東日本大震災への兵庫労働共済生協の対応について」、続いて兵庫県生協連・今井和弘さんより「兵庫県生協連の大規模災害対策の取り組みについて」を報告いただきました。

最後に、被災地のみやぎ生協が作成したDVD「震災を乗り越えて、新たなみやぎ生協づくりへ」を視聴したあと、宮城県生活協同組合連合会会長理事・齋藤昭子さんより「被災地からの報告」をいただきました。支援する側、支援を受け復興に向けて頑張っておられる側双方の心のつながりを感じ、これからも精一杯の支援を誓い合いました。

報告会終了後も、「東日本大震災支援活

動パネル展示」や、会員医療生協による「健康チェック」、コープこうべによる「東北地方の特産物の即売」を行い、多くの参加者でにぎわいました。



今井和弘さん

福岡孝史さん

瀬井宏幸さん

藤江正俊さん

大谷敦子さん



東北地方の特産物の即売



医療生協による健康チェック



宮城県生協連 齋藤昭子会長理事

■生協功労者・兵庫県知事感謝

(順不同・敬称略)

所属生協	氏名
姫路医療生活協同組合	古角 千鶴
ろっこう医療生活協同組合	藤原 純八郎
兵庫県立大学生生活協同組合	東原 洋二
兵庫県生活協同組合連合会	大西 憲慈

■生協功労者・兵庫県生協連合会会長表彰 被表彰者

(順不同・敬称略)

所属生協	氏名
生活協同組合コープこうべ	安藤 正裕
生活協同組合コープこうべ	北脇 愛生
生活協同組合コープこうべ	小出 政徳
生活協同組合コープこうべ	高崎 時男
生活協同組合コープこうべ	萩野 昭博
生活協同組合コープこうべ	金谷 善之
生活協同組合コープこうべ	菊池 元信
生活協同組合コープこうべ	梶谷 博
生活協同組合コープこうべ	山橋 信也
生活協同組合コープこうべ	畑 睦生
生活協同組合コープこうべ	橋本 明夫
生活協同組合コープこうべ	西 浩平
生活協同組合コープこうべ	石井 武
生活協同組合コープこうべ	伊東 信義
生活協同組合コープこうべ	原田 純一

2011年度  
兵庫県生協大会功労表彰

所属生協	氏名
神戸医療生活協同組合	先崎 澄恵
神戸医療生活協同組合	松岡 光子
神戸医療生活協同組合	安川 忠通
尼崎医療生活協同組合	山口 泰子
尼崎医療生活協同組合	門 倫代
尼崎医療生活協同組合	北島 祥子
尼崎医療生活協同組合	仁禮 孝子
尼崎医療生活協同組合	佐々木 暁子
宝塚医療生活協同組合	上坊 由美子
姫路医療生活協同組合	梶木 明美
姫路医療生活協同組合	山口 和昭
ろっこう医療生活協同組合	出口 和美
神戸市民生活協同組合	有元 雅人
兵庫労働共済生活協同組合	稲岡 孝一



兵庫県知事感謝



兵庫県生協連合会会長表彰



兵庫県生協連合会会長表彰

# 2011年度 第2回理事会報告

- 【開催日時】** 2011年10月3日(月) 午後2時13分～3時55分  
**【開催会場】** 兵庫県民会館 12階「1201」  
**【出席者】** 本田会長理事、寺尾副会長理事、大西専務理事、板崎、高橋、福島、大槻、新保、伴、大沼、小野田、酒井(以上、理事)、藤田、金丸、秦(以上、監事)

## 報告事項

- (1) 「会員生協の概況報告」について、各出席役員より報告
- (2) 前回理事会～10月上旬までの兵協連諸行事・諸活動報告
- (3) 兵協連2011年度上期の活動報告と下期の課題
- (4) 兵協連予算執行状況(8月度累計)
- (5) 2011年度兵協連研修実施報告と計画(案)
- (6) 兵協連ピースアクション2011開催報告
- (7) 第23回近畿地区生協・行政合同会議開催報告
- (8) 近畿厚生局からの指摘事項(中四国、近畿方面検査をふまえて)
- (9) 2011年度生協間連帯・実態調査の実施について
- (10) 兵協連第2回生協対策資金貸付審査会開催報告
- (11) 2011年度兵庫県生協大会の開催内容について

## 協議事項

- (1) 東日本大震災見舞金拠出について
- (2) 生協対策資金貸付金返済6月度分払い込みについて
- (3) 生協対策資金貸付規則の改定について
- (4) 全国消費者大会の参加費補助について

## 第10回兵庫県健康福祉部と兵協連理事会との懇談会報告

- 【開催日時】** 2011年10月3日(月)  
午後4時30分～5時30分  
**【場 所】** 兵庫県民会館 12階「1201」  
**【出席者】** (兵庫県) 清原理事、横山局長、東元課長、木村課長補佐  
(兵協連) 本田会長理事、寺尾副会長理事、大西専務理事、板崎、高橋、福島、大槻、新保、伴、大沼、小野田、酒井(以上、理事)、藤田、金丸、秦(以上、監事)



兵庫県健康福祉部との懇談会の様子

### ①あいさつ及び県下生協の現況について

兵協連 本田 英一 会長理事

### ②各分野別生協の現況について

#### (大学生協)

兵協連 高橋 秀行 理事(関西学院大学生協 専務理事)

- ・兵庫県との連携事業の進展について
- ・大学生協阪神事業連合と「京阪神北陸統合事業部」の開始について

#### (医療生協)

兵協連 福島 哲 理事(尼崎医療生協 専務理事)

- ・東日本大震災被災地への支援について

#### (共済生協)

兵協連 酒井 行雄 理事(兵庫労働共済生協 理事長)

- ・全労済および兵庫労働共済生協の東日本大震災被災地への支援について

### (地域・職域購買生協)

兵協連 大沼 和世 理事

(生活クラブ生活協同組合都市生活 副理事長)

- ・環境創造米の取り組み
- ・放射性セシウム検査結果の公開

### ③ごあいさつ及び平成23年度消費者行政について

兵庫県 清原 桂子 理事

(安全安心な消費生活推進本部 事務局長)

- ・時代の先駆者としての生協
- ・安全安心な消費生活の推進について

### ④意見交換

- ・消費者行政強化や生協の育成(コンプライアンスの重要性)、2012年国際協同組合年に関して意見交換が行われました。

## 兵庫労働共済生活協同組合

### 台風被害をうけられた組合員との

### やりとりをつうじて感じたこと

～組合員の生活再建にむけたスタートをお手伝いします

2011年9月は、台風12号・台風15号と2つの大きな台風が上陸し、兵庫県を含む全国各地に大きな被害をもたらしました。あらためて、被災された皆さまに対し、心よりお見舞い申し上げます。

この間、火災共済、自然災害共済のお支払いのため、「床上浸水」「屋根瓦のずれ・破損」「外壁の損壊」「土砂崩れによる損壊」等の被害にあわれた組合員さんのお宅を、数多く訪問してまいりました。

被災された組合員とのやりとりをつうじて目の当たりにしたのは、「自然災害の体験・教訓」「防災・減災への意識・備え」「住まいの保障の必要性・しくみの理解」の有無・度合いによつて、火災共済・自然災害共済への加入度合い（加入保障額、自然災害共済付帯



の有無など）が大きく異なり、その結果、生活再建にむけたスタート位置（共済金による生活再建資金の手当ての度合い）が大きく異なってしまう、という厳しい現実です。

近年自然災害が甚大化・多発する傾向が強まっているなか、兵庫労働共済生協（全労済兵庫県本部）では、現在『住まいと暮らしの防災・保障点検運動』を展開しています。私自身、今回の被害調査訪問をつうじて、「自然災害への対策・備え」と「被災後の生活再建のための対策・備え」の必要性・重要性を、より具体的に、よりわかりやすくお伝えしていきたい、との想いを強めることとなりました。被災現場にて実際に見聞き、感じたことをお伝えしたうえで、保障設計のご提案をすることで、組合員の生活を守ることに貢献していきたい、と考えています。

（通信員 鶴田和彦）



……私からはじめる……

防災保障点検運動

## 神戸市民生活協同組合

### ラインの館で紅茶のいれ方教室を

### 開催しました

9月30日(金)に、北野異人館「ラインの館」にて、紅茶のいれ方教室を開催しました。この催しは昨年からはまったもので、『異人館でティータイムを楽しみたい』との、来館者の方々から寄せられる多くのお声にお応えするために企画したものです。

当日はあいにくの雨模様でしたが、昨年と同じくたくさんの方が参加されました。講師はティーコーディネーターの山田貴子氏を迎え、紅茶の歴史や生産地、茶葉の種類、そして美味しい紅茶のいれ方を紹介した後、二種類の紅茶の味比べなどの試飲もしていただきました。参加者の方はメモを取られたり、紅茶の色をじっくり比べられるなど、熱心に学んでおられました。

参加者の方々からは「美しい紅茶の世界に魅了されるばかりでした。ありがとうございます」、「おいしい紅茶をいれてのおもてなしの仕方など、くわしく知りたいです」などの感想が寄せられました。

明治時代の開港に伴って外国文化の影響を大きく受け、神戸の紅茶の消費量は日本一といわれます。こういった神戸ならではの生活文化に根ざした催しを通じて、ラインの館がよりいっそう地域の方々に身近な存在となるようにしていきたいと思っております。

（通信員 鹿田裕子）



## 西宮市民共済生活協同組合

### 第28回 秋の作品展覧会を開催

9月29日(木)～10月2日(日)、当組合の会館2・3階で「第28回 秋の作品展覧会」を開催しました。地域社会との密着、市民共済および会館紹介、市民共済事業活動のPRの一環として行っており、今年で14年目をむかえます。

毎年過去の出展者に案内し、出展



依頼をしているのですが、今回はそれに加え、初めて公民館の各グループに案内を行いました。その甲斐もあり、117人の方から、150点近くの絵画・写真・手工芸・書道・彫刻とさまざまな作品の出展申し込みがありました。

4日間での来館者数は200名を

超え、来館された方がゆつくりと作品を鑑賞できるようと、展示会場に休憩スペースを設置し、お茶やお菓子をふるまい、盛況でした。

作品を出展いただいた方、来館された方ともに、さまざまな作品を楽しんでいただくことができました。地域の方との交流の場として、継続していきたいと思

います。  
(通信員 高橋美香)

## 姫路医療生活協同組合

### WHOウォークイベント

#### 「飾磨津見て歩き」

10月2日(日)、WHOウォークイベント「飾磨津見て歩き」を、姫路医療生協と高齢者はりまの会が共催で行いました。当日は飛び入り参加も多く、さわやかな秋空のもとを、50名が歩きました。

午前9時30分に山電飾磨駅を出発し飾磨街道(銀の馬車道)を南下、昔ながらの町並みが残っていることに感心したり、驚いたりしながら、飾磨支部の組合員さんの説明に耳を傾けてのウォーキングになりました。



かなり古いと思われる豪邸では、ご主人が出てこられて詳しい説明をしていた。運にも出会いました。また、



道沿いの古い駄菓子屋をちよつと覗くと、今の時代でも10円という駄菓子の値段にびっくり、懐かしい思いがしました。

ワイワイお騒がせしながら歩いた飾磨津の町並み。あつという間の楽しい半日でした。

(理事 高尾 肇)



## 生活協同組合コープこうべ

### 約一、〇〇〇人の組合員が

### 工場を見学しました



10月16日(日)、神戸市東灘区にある、コープこうべ六甲アイランド食品工場で「秋のコープ食品工場まつり」を開催。来場希望のあった

約3000人の組合員から抽選で選ばれた、約1000人が参加されました。

通常は夜間に稼働する食パンや麺の製造ラインを、一部昼間に製造時間を変更し、製造の様子を見学しました。

また、毎回込み合う人気の試食コーナーは、入口前で食品工場の歴史や製造の仕組みなどのパネルを見たあと、新商品の試食へとスムーズにご案内することができました。

また、菓子パンの包あん機を製造場所から会議室に移動させ、目の前で機械が動く様子を見たり、豆乳に

自分でにがりを入れて、できたての豆腐を味わったりと、お子さまから大人まで体験しながら楽しく学習する一日となりました。

(通信員 榊原皐子)



## 生活クラブ生活協同組合都市生活

### 生産者と組合員の思いを込めて

### 絆をつなげました

です。東日本大震災、台風12号による紀伊半島豪雨災害と地域のつながりが破壊される自然災害が続いています。今こそ私たちは絆を大切に皆でつながり、この困難な状況に立ち向かわなければなりません。その様な思いを込めたテーマです。参加者全員で手をつなぎ、振り上げ「つながりよう絆」の大合唱でスタートしました。今年もたくさん生産者と組合員で熱気のある一日でした。

(通信員 紺本 直)



10月23日(日)、神戸サンボーホールにて参加生産者68団体を迎え、生協祭「あいたくて都市生活」が行われました。前日の大雨も朝にはやみ、暑くもなく寒くもなく絶好のお祭り日和の中での開催でした。

今年のテーマは「つながりよう絆」



# 協同組合のかけ橋

## JF 兵庫県漁業協同組合連合会

### 届け！兵庫漁民の声！ 漁業用燃油の課税免除恒久化を訴える 「兵庫県漁業者決起集会」開催！！

来年3月末をもって期限切れとなる漁業用燃油の免税措置の恒久化を求める決起集会が10月12日(水)、県内漁業協同組合とJFグループ兵庫水産



政策協議会、兵庫県漁協青壮年部連合会、兵庫県漁協女性部連合会の主催で開催されました。大会当日の明石市内の会場には県内全域

から続々と漁業者ら約1,700人が集結、国会議員や県・市長のほか、水産関連業者も参加した大規模集会となりました。

集会はまず、JFグループ兵庫水産政策協議会山田 隆義会長が「燃油価格の高騰に加え、課税免除措置が無くなれば漁業者は生活が出来ない。恒久的な免税措置を強く要望する。」と挨拶。来賓として挨拶に立った兵庫県 吉本 知之副知事は「漁業そのものが立ち行かなくなる恐れがあるので受入れがたい。県としても国の平成24年度の予算編成に対し、漁業用燃油の恒久的な免税措置について要望しており、今後、関係機関と連携しつつ努力していきたい。」と述べられました。続く地元選出の国会議員や明石市長からも同措置恒久化への力強い言葉を、また、応援演説としてJF全漁連、JA兵庫中央会から激励のメッセージを頂き、会場は大きな拍手に包まれました。



挨拶にたつ山田会長



シュプレヒコールをリードする大角会長ら

この後、意見発表や決議文採択を行い、最後は県漁青連から大角 生馬会長をはじめとする役員が壇上に上がり、参加者全員でこぶしを突き上げて「軽油引取税の免税制度を無くすな!」、「A重油の免税、還付措置を継続せよ!」、「兵庫の漁業を守るぞ!」とシュプレヒコールで力強く訴えて締めくくりました。

## JA 兵庫県農業協同組合中央会

### JA兵庫六甲 三輪さつき会館オープン

JA兵庫六甲 三輪さつき会館（JA葬祭会館）が9月13日にオープンしました。JA兵庫六甲では、組合員・利用者、地域住民に幅広い事業を提供するために、100%出資子会社である(株)ジェイエイアクトと連携し、葬祭事業をおこなっています。

これまで同JAの葬祭会館は、JAやすらぎセンター（神戸市西区）を設置していましたが、2つ目の会館として「三輪さつき会館」を設置することにより、幅広い組合員・地域住民に利用してもらう目的があります。三輪さつき会館には通夜・葬儀から法要、遺族の宿泊施設や会食室などの設備も完備。これまで以上に組合員・地域住民の多様なニーズに合わせたサービスを提供します。

9月7日には竣工式、9月10日・11日には内覧会が実施され、組合員や地域住民など多くの来館がありました。また、三輪さつき会館オープンに伴い、旧来のJA葬祭センター六甲（神戸市北区道場町）はJA三輪さつきセンターとして移転統合します。さらに、オープンに併せ、JA葬祭ご利用特典付き【さつき】定期積金の取扱も開始するなど、事業間連携もおこなっています。



JA 三輪さつきセンター  
(三田市三輪 1-7-19)  
TEL : 079-563-3031



最近の消費生活相談事例

# 高齢者の消費生活トラブル

## 事例

高齢者をねらった消費者トラブルが増えていると報道されています。どのようなケースがあるのでしょうか？

### 【アドバイス】

在宅していることの多い高齢者のトラブルは、他の年齢層に比べて、訪問販売や電話勧誘に関するトラブルの割合が高くなっています。また、被害額が大きくなる傾向があり、70才以上の被害額は1件あたり平均約150万円と突出しています。

具体的な事例としては、次のようなトラブルがあげられます。

#### ●未公開株・社債購入の勧誘

高齢者の消費者トラブルのワースト1は未公開株や社債など預貯金・証券等に関するものです。

- ①複数の事業者が役割を演じ、電話・ダイレクトメールなどで購入を勧められる劇場型被害
- ②「以前の損を取り戻す」として、その代わりに新たな購入を勧められる二次被害。その他、執拗な勧誘があり、断ると強迫されたといった相談や、独居の高齢者が騙されているようだという家族などからの相談がみられます。

#### ●訪問販売によるリフォーム勧誘

次に多いのが、『地震が来たら倒壊する可能性がある』などと不安をあおり、高額なリフォーム契約を迫る訪問販売のトラブルです。

高齢者本人の問題意識を高めるとともに、家族や民生委員・ホームヘルパーなど周囲の方々が日頃から高齢者の様子を気に掛けることが大切です。少しでも「おかしいな」と思ったら消費生活センターなどの相談機関に“つなぐ”ことがトラブルの防止につながります。

(兵庫県生活科学総合センター 078-303-0999)

# MOVE

## 『ひょうご消費生活フォーラム2011』のご案内

- 【日時】平成23年11月22日(火) 13時30分～15時30分  
 【場所】ラッセホール ローズサローン(神戸市中央区中山手通4-10-8)  
 【主催】兵庫県・ひょうご消費生活三者会議  
 【内容】■基調講演「震災後のいま 消費生活を考える  
 ～消費者・事業者・行政の連携による安全・安心な暮らしを目指して～」  
 主婦連合会事務局長、元消費者委員会委員 佐野真理子さん  
 ■悪質商法被害防止コント劇 兵庫県健康生きがいつくり協議会東支部「劇団イースターズ」  
 ■消費者・事業者・行政の活動報告  
 消費者：NPO法人C・キッズ・ネットワーク理事長 大森 節子さん  
 生活協同組合コープこうべ常勤理事 山添 令子さん  
 事業者：(社)兵庫県食品衛生協会・ヤマサ蒲鉾(株)品質管理室室長 黒田 信行さん  
 行政：福崎町立生活科学センター消費生活相談員 尾崎 千鶴子さん  
 兵庫県立健康生活科学研究所生活科学総合センター長 圓尾 辰夫さん

参加ご希望の方は、①代表者氏名 ②参加人数 ③連絡先住所 ④電話番号 ⑤FAX番号 をご記入のうえ、FAX、電話、E-mailのいずれかで11月18日までにお申し込みください。(ただし、定員になり次第締め切ります)



兵庫県健康福祉部生活消費局消費生活課  
 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1  
 電話 078-362-3393 FAX 078-362-4022  
 E-mail: syouhiseikatsu@pref.hyogo.lg.jp

県からの  
お知らせ

### 債務整理・家計管理・こころの相談 合同無料相談会を開催します

兵庫県多重債務者対策協議会では、借金でお悩みの方を対象に、「法律専門家による債務整理相談を中心に、「家計管理(生活再建)相談」、「こころの相談」にも対応する『合同無料相談会』を開催します。

- お住まいの市町以外の会場でも相談できます。
- 事前に予約先まで電話でお申し込みください。



開催日	時間	会場(住所)	予約先
12月10日(土)	9:00～11:00	西播磨文化会館(たつの市)	西播磨消費生活センター 0791-58-1194
	13:30～16:30	芦屋市消費生活センター(芦屋市)	芦屋市消費生活センター 0797-38-2179
	13:00～16:00	但馬消費生活センター(豊岡市)	但馬消費生活センター 0796-23-0999
	13:00～16:00	丹波の森公苑(丹波市)	丹波消費生活センター 0795-72-5168
	13:30～16:30	コミュニティセンターおの(小野市)	小野市生活環境グループ 0794-63-1686
12月11日(日)	13:00～15:30	神戸市総合福祉センター(神戸市)	神戸市消費生活課 078-322-5184
	13:00～16:30	姫路職員福利センター(姫路市)	中播磨消費生活創造センター 079-281-9601
12月16日(金)	13:30～16:00	神戸地方合同庁舎1階(神戸市)	神戸財務事務所総務課 078-391-6941
12月17日(土)	13:00～16:00	淡路文化会館(淡路市)	淡路消費生活センター 0799-26-3360
	13:30～16:30	三田市まちづくり協働センター(三田市)	三田市まちづくり協働センター 079-559-5032

### 県連日誌

- 11月8日(火) 兵協連第2回保健・医療・福祉研究会研修はいはん医療生協見学会(門真市)
- 11月11日(金) 兵協連第2回医療生協部会研修会(県民会館 302)
- 11月13日(日) 兵協連 役職員体育大会(野球大会)予選
- 11月15日(火) 兵協連第3回大学生協部会(業業鳴尾浜スポーツセンター)
- 11月17日(木) 兵庫県・兵協連共催第14回監事研修会(県民会館 902)
- 11月18日(金) 兵協連第2回共済生協部会(県民会館 ばら)
- 11月19日(土) 兵協連 役職員体育大会(ボウリング大会)
- 11月23日(水) 兵協連三役と事務局との連絡会(神戸ボウリング倶楽部)
- 11月24日(木) 兵協連第4回生協活動委員会(兵協連事務所)

### 編集後記

着任して一ヶ月。皆様に助けられながら、アツという間の毎日です。キョロキョロ、ウロウロ、バクバク(?).....、五感をフルに使って日々を過ごしています。栄養源は、皆様からの情報メール!来月も楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。(中尾)

【お詫び】  
 本誌10月号3ページ「想点」の文中、「相互扶助」とすべきところ誤って「相合扶助」になっていました。また、10月号5ページ兵協連会長理事「本田英一」とすべきところ誤って「本田栄一」と記載いたしました。お詫びし、訂正させていただきます。